

教科	科目	単位数	年次	学科(コース)	区分	使用教科書
工業	実習	3	3	デザイン科	必修	デザイン実践 (実教出版)

1. 学習の到達目標

<p>工業のデザインの見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、デザインの発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>デザイン分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>デザイン分野の技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づきデザインの技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>デザイン分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、その発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> <p>ビジュアルデザインに関する基礎的な技術を応用に生かし、実際の作業を踏まえながら総合的に習得した技術及びデザインにおける構成力を主体的に活用できる能力と態度を育てる。</p>

2. 学習の評価

評価の観点 (重み)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	デザイン分野に関する課題の目的を理解し、解決に必要な知識と技術を身に付ける。	課題解決方法を考えながら発見し、的確な判断のもと進めながら表現することができる。	課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら、協働的かつ主体的に粘り強く取り組むことができる。
評価の方法	課題の進捗状況 課題提出物	課題の進捗状況 課題提出物	課題への取り組み姿勢 合評会

2. 教科からのメッセージ

<p>目的を明確にし、伝えたいことをできるだけ簡潔に伝える方法を、ポスター制作等を通して学びます。身近なところにあるデザインに目を向けてみることで、自分の生活の中にあふれているデザインに気付くはずです。また、合評会を通して、自分と違う考え方にも触れて、制作の幅を広げると共に他を理解する心と感性を磨いて下さい。</p>

4. 年間指導計画

4月 ～9月	<p>イメージ構成①</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のイニシャルとイメージを活かして平面構成する <p>イメージ表現②</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまなイメージによる視覚的表現があることを知り、自らの創造力を広げる
10月 ～12月	<p>ポスター制作(公募)</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジュアルデザインにおけるポスターの構成要素について演習を通して理解する ポスターの制作工程を理解する テーマ設定について、内容の適切さ、表現手段、素材選定などのプロセスを学ぶ 効果的なビジュアルコミュニケーションデザインについて表現方法を工夫する デジタル表現を含め、最終的な成果物になるプロセスを理解する 合評会で、自分の表現の狙いや表現方法について他者に分かりやすく説明すると同時に他の作品の意図を理解する
1月 ～3月	<p>立体構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件に基づいて立体で表現することにより、造形感覚や感性などを働かせ、技法等の工夫をする力を養う